RODGERS

3 段鍵盤オルガン

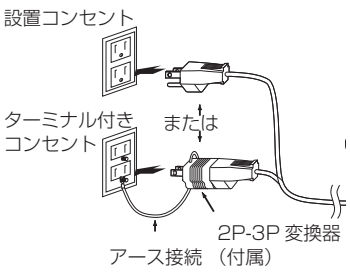
取扱説明書

電源コードの接続

感電を防ぐために付属の電源コードを使用し、アースを確実に取り付けてください。

付属の電源コードには、感電と機器の損傷を防ぐためにアース用電極端子を加えた 3 端子のプラグがついています。

- コンセントが接地コンセント（端子穴が 3 個）の場合
  そのままコンセントにプラグを挿し込んでください。
- コンセントがアースターミナル付コンセント（端子穴が 2 個）の場合
  プラグに 2P-3P 変換器をつけ、アース接続後コンセントに挿し込みます。



※アース接続は必ず、電源プラグをコンセントに挿し込む前に行ってください。

※アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店に接地工事を依頼してください。

なお、接続方法がわからないときは、ローランドお客様相談センターにご相談ください。

この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」(P.4)と「使用上のご注意」(P.6)をよくお読みください。また、この機器の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。

目次

安全上のご注意 4

使用上のご注意 6

アイボリー・フィール鍵盤について 7

各部の名称とはたらき 8
ディスプレイについて 9
基本画面の内容 9
ピストンについて 10
トゥ・ピストンについて 11
ディスプレイとパネル 11
外部接続端子 12

メニューの設定方法 13
メニュー一覧 13
Demo 13
USB Memory 13
Hymn Player 14
Song Recorder 14
Pitch ／ Tuning 15
Room Modeling 15
USER ／ MIDI Coupler 16
Console 17
Tremulant 18
Exp. Pedal 18
Crescendo 19
Audio 19
MIDI 20
Save ／ Load（USB） 21
Utility 21
設定内容を記憶させる（カスタマイズ） 22

ストップ（音色）を選ぶ 23
ストップのバリエーション（ボイス・パレット）を選ぶ . . . 23

ストップの組み合わせを記憶する 24
レジストレーションを記憶する／呼び出す 24
レジストレーションを記憶する 24
レジストレーションを呼び出す 24
音色の設定をリセットする（ジェネラル・キャンセル） . . . 24
メモリー・バンクを使う 25
メモリー・ピストンの組み合わせをメモリー・バンクとして記憶する 25
別のメモリー・バンクからレジストレーションを呼び出す 25
保存されたレジストレーションを次々に呼び出す 25
USB メモリーに保存されているメモリー・バンクを使う . . 26
USB メモリーを準備する 26
USB メモリーのフォルダーを選ぶ 26
メモリー・ピストンの組み合わせをメモリー・バンクとして USB メモリーに記憶する 26
USB メモリーにある別のメモリー・バンクからレジストレーションを呼び出す 26

FULL ORGAN の設定を変える 27
［FULL ORGAN］ピストンを押したときに、鳴らす音色を設定する 27
［FULL ORGAN］ピストンを押したときのタブレット・ランプ点灯／消灯を設定する 27

クレッシェンドの設定を変える 27

オルガン・タイプを変える 27

プリセット曲や演奏データを使って練習する 29
再生する曲を選ぶ 29
あるディビジョンをミュートして再生する 30
あるディビジョンをガイド音色で再生する 30

演奏を録音する 31
演奏を録音する 31
録音した演奏を再生する 31
録音した演奏を保存する 31
保存されている演奏データを消す 32
演奏データをコピーする 33

ヒム・プレーヤー 34
Hymn（賛美歌）か Prelude（前奏曲）を選ぶ 34
Hymn number（賛美歌番号）を選ぶ 34
賛美歌を再生する 34
前奏曲を再生する 34
Hymn book（賛美歌集）を換える 34

USB メモリーへの設定の保存と読み込み 35
USB メモリーの初期化 35
USB メモリーに保存されているメモリー・バンクを削除する 35
メモリー・バンクをコピーする 35
ボイス・セットアップの保存と読み込み 36
USB メモリーへ保存する 36
ボイス・セットアップを読み込む 36
ボイス・セットアップを削除する 36

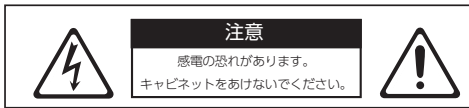
データのバックアップや初期化をする 37
製品出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット） 37
データをバックアップ／ロードする 37
バージョンを表示する 37

ショートカット一覧 38

©2012　ローランド株式会社　本書の一部、もしくは全部を無断で複写・転載することを禁じます。

安全上のご注意

マークについて　本機に表示されているマークには、次のような意味があります。



注意：　感電防止のため、パネルやカバーをはずさないでください。本機の内部には、お客様が修理／交換できる部品はありません。
修理は、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに依頼してください。

このマークは、本機の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。

このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

火災・感電・傷害を防止するには

⚠警告と⚠注意の意味について

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表しています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表しています。 具体的な注意内容は、△の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⃠は、禁止（してはいけないこと）を表しています。 具体的な禁止内容は、⃠の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
	● は、強制（必ずすること）を表しています。 具体的な強制内容は、● の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を必ず守ってください

⚠ 警告

分解や改造をしない

本機を分解したり、改造したりしないでください。

個人で修理や部品交換はしない

修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。必ずお買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。

次のような場所で使用や保管はしない

次のような場所に設置しないでください。

- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- 湯気や油煙が当たる場所
- 塩害の恐れがある場所
- 雨に濡れる場所
- ほこりや砂ぼこりの多い場所
- 振動や揺れの多い場所

⚠ 警告

電源プラグは AC100V の電源コンセントに差し込む

電源プラグは、必ず交流（AC）100V の電源コンセントに差し込んでください。

電源コードを傷つけない

電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。電源コードに傷がつき、ショートや断線の結果、火災や感電の恐れがあります。

大音量で長時間使用しない

本機を単独で、あるいはヘッドホン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量 で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。

異物や液体を入れない、液体の入った容器を置かない

本機に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。また、この機器の上に液体の入った容器（花びんなど）を置かないでください。ショートや誤動作など、故障となることがあります。

⚠ 警告

異常や故障が生じたときは電源を切る

次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに修理を依頼してください。

- 電源コードやプラグが破損したとき
- 煙が出たり、異臭がしたりしたとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- 機器が（雨などで）濡れたとき
- 機器に異常や故障が生じたとき

お子様の取り扱いに注意する

お子様のいる場所で使用する場合、お子様の取り扱いやいたずらに注意してください。必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。

落としたり、強い衝撃を与えたりしない

本機を落としたり、本機に強い衝撃を与えないでください。

⚠ 警告

タコ足配線はしない

電源は、タコ足配線などの無理な配線をしないでください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップの容量（ワット／アンペア）を超えると発熱し、コードの被覆が溶けることがあります。

海外でそのまま使用しない

外国で使用する場合は、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。

電源コードのアースを確実に取り付ける

電源コードのアースを確実に取り付けてください。感電の恐れがあります（P.2）。

⚠ 注意

風通しのよい場所に設置する

本機は、風通しのよい、正常な通気が保たれている場所に設置して、使用してください。

電源コードはプラグを持って抜き差しする

電源コードをコンセントに抜き差しするときは、必ずプラグを持ってください。

電源コードのプラグを定期的に掃除する

定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でゴミやほこりを拭き取ってください。また、長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりがたまると、絶縁不良を起こして火災の原因になります。

コードやケーブルは煩雑にならないように配線する

接続したコードやケーブル類は、煩雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、お子様の手が届かないように配慮してください。

上に乗ったり、重いものを置いたりしない

本機の上に乗ったり、機器の上に重いものを置いたりしないでください。

濡れた手で電源コードを抜き差ししない

濡れた手で電源コードのプラグを持って、コンセントに抜き差ししないでください。

移動するときの注意

本機は大変重いので、必ず無理なく確実に持ち運べる人数で移動してください。このとき、手をはさんだり、足の上に落としたりしないように注意してください。移動するときはお買い上げ店またはローランドお客様相談センターに連絡してください。

お手入れするときは電源コードをコンセントから抜く

お手入れをするときには、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。

落雷の恐れがあるときは電源コードをコンセントから抜く

落雷の恐れがあるときは、早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

可動部に指などをはさまないように注意する

下記の可動部を操作するときは、指などをはさまないように、注意してください。小さいお子様が使用されるときは、大人のかたが監視／指導してください。

- フタ

椅子を使用するときの注意

オルガン椅子を使用するときは、必ず次の事項を守ってください。

- 2 人以上で腰掛けない。
- 腰掛けたままで、高さ調節しない。

使用上のご注意

電源について

- 本機を、インバーター制御の製品やモーターを使った電気製品（冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなど）と同じコンセントに接続しないでください。電気製品の使用状況によっては、電源ノイズによって本機が誤動作したり雑音が発生したりすることがあります。電源コンセントを分けることが難しい場合は、電源ノイズ・フィルターを取り付けてください。
- 接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の電源を切ってください。
- 電源スイッチを切って本機上の LCD や LED が消えても、本機は主電源から完全に遮断されてはいません。完全に電源を切る必要があるときは、本機の電源スイッチを切った後、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、本機にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。
- 本機は、演奏や操作をやめてから 240 分経過すると自動的に電源が切れます（工場出荷時の設定）。オート・オフで電源が切れてから再び電源を入れるときは、電源スイッチを入れ直してください。自動で電源を切る必要がない場合は『メニューの設定方法』(P.13)に記載の手順で「Auto Off」(P.18)の設定を「OFF」にしてください。

ご注意！

電源が切れると編集中の設定は失われます。残しておきたい設定はあらかじめ保存しておいてください。

設置について

- 本機の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えてください。
- 本機をテレビやラジオの近くで動作させると、テレビ画面に色ムラが出たりラジオから雑音が出たりすることがあります。この場合は、本機から遠ざけて使用してください。
- 本機の近くで携帯電話などの無線機器を使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、無線機器を本機から遠ざけるか、電源を切ってください。
- 直射日光の当たる場所や発熱する機器の近くなどに放置しないでください。また、至近距離から照らす照明器具（ピアノ・ライトなど）や強力なスポット・ライトで長時間同じ場所を照らさないでください。変形、変色することがあります。
- 本機の上にゴム製品やビニール製品を長時間放置しないでください。変形、変色することがあります。
- 鍵盤やペダル鍵盤の上に物を置いたままにしないでください。発音しなくなるなど、故障の原因になります。
- 本機にシールなどを貼らないでください。はがす際に外装の仕上げを損なうことがあります。
- 本機の上に水の入った容器、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

お手入れについて

- お手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、固く絞った布で汚れを拭き取ってください。木目にそって全体を均一の力で拭くようにします。同じ所ばかり強くこすると、仕上げを損なうことがあります。
- 変色や変形の原因となる、ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

修理について

- お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合もあります。
- 修理に出される場合、記憶した内容が失われることがあります。大切な記憶内容は、USB メモリーに保存するか、記憶内容をメモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記録内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップとして USB メモリーに保存しておいてください。
- 本体メモリーと USB メモリーの失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ディスプレイを強く押したり、叩いたりしないでください。
- ケーブルを抜くときは、ショートや断線を防ぐため、プラグ部分を持って引き抜いてください。
- 本機は多少発熱することがありますが、故障ではありません。
- 音楽をお楽しみになる場合、周囲に迷惑がかからないように、音量に十分注意してください。ヘッドホンを使用すれば、気がねなくお楽しみいただけます。
- 輸送や引っ越しをするときは、機器を緩衝材などで十分に梱包してください。そのまま移動すると、傷、破損、故障の原因になります。
- 譜面立てを使用するときは、譜面立てに強い力を加えないでください。
- 接続ケーブルには抵抗入りのものがあります。抵抗入りのケーブルを使用すると音が極端に小さくなったり、まったく聞こえなくなったりする場合があります。抵抗の入っていない接続ケーブルをお使いください。
  他社製の接続ケーブルを使用する場合、仕様についてはケーブルのメーカーにお問い合わせください。
- 本機の構造上、ペットなどの小動物が内部へ入ってしまうことがあります。そのような場合は、直ちに電源を切って電源コードをコンセントからはずし、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターにご相談ください。
- フタを開閉するときは、可動部と本体の間に指を挟まないように注意してください。
- 本書では、画面を使用して機能説明をしていますが、工場出荷時の設定（音色名など）と本文中の画面上の設定は一致していないことがあります。あらかじめご了承ください。

外部メモリーをお使いになる前に

外部メモリーの取り扱い

- USB メモリーは、確実に奥まで差し込んでください。

- USB メモリーの端子の部分に触れたり、汚したりしないでください。
- USB メモリーは精密な電子部品で作られています。取り扱いについては次の点に注意してください。
  - 静電気による破損を防ぐため、取り扱う前に身体に帯電している静電気を放電しておく。
  - 端子部に手や金属で触れない。
  - 曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしない。
  - 直射日光の当たる場所や、閉め切った自動車の中などに放置しない。
  - 水に濡らさない。
  - 分解や改造をしない。

アイボリー・フィール鍵盤について

ピアノ鍵盤で、最高の材料と言われる象牙（白鍵）と黒檀（黒鍵）。
その触感・質感を最新の技術で再現したのが、アイボリー・フィール鍵盤です。

- 吸湿性のある素材を縞状に入れることで、表面の触感・演奏性を高めています。
- 光沢を抑えた落ち着きのある色調にすることで、質感・高級感を高めています。
- 白鍵は、象牙を連想させる、やや黄色みを帯びた白色に仕上げています。
- 独特の触り心地で、弾き込むほどに風合いが変化し手に馴染んできます。

ご注意 ～最良の状態でお使いいただくために～

取り扱いについて

- **ペンなどで書き込みをしたり、印を付けないでください。**
  インクが表面のラインに染み込んで落ちなくなります。

- **シールなどを貼ったりしないでください。**
  粘着力の強いものでは、シールがはがれなくなったり、粘着剤によって変色することがあります。

お手入れのときには

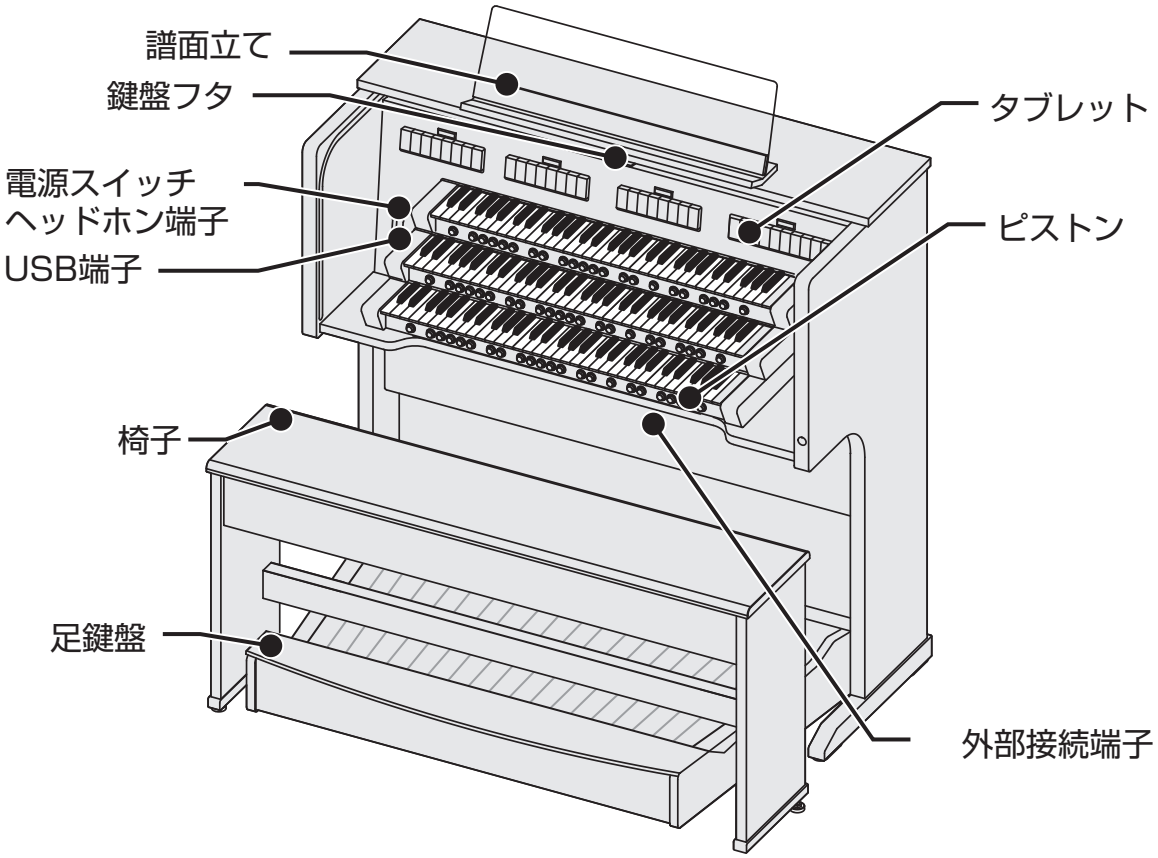
以下の点にご注意ください。表面の仕上げにキズや光沢などのダメージを与えたり、変色・変形の原因になります。

- **汚れを落とすときは、柔らかい布をお使いください。**
  水を含ませて固くしぼった布で、汚れを軽く拭き取るようにします。表面を強くこすらないでください。

- **ひどい汚れを落とすときは、研磨剤の入っていない市販の鍵盤クリーナーを使ってください。**
  はじめは軽く拭くようにします。汚れが落ちないときは、傷がつかないように徐々に力を入れながら拭くようにしてください。

- **ベンジン、シンナーおよびアルコール類は使用しないでください。**

各部の名称とはたらき



⚠ 警告

※ **本機は、演奏や操作をやめてから 240 分経過すると、自動的に電源が切れます（工場出荷時の設定）。**

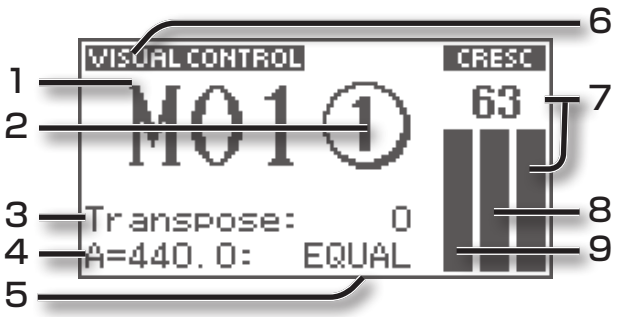
オート・オフで電源が切れてから再び電源を入れるときは、電源スイッチを入れ直してください。

自動で電源を切る必要がない場合は、『メニューの設定方法』（P.13）に記載の手順で「Auto Off」（P.18）の設定を「OFF」にしてください。

※ 電源を入れ直すときは、電源を切ったあと 5 秒以上の間隔を開けてから電源を入れてください。この間隔が短いと、オート・オフ機能がリセットされず、正常に電源が入らない場合があります。

ディスプレイについて

基本画面の内容



1. ジェネラル・メモリー・バンクの番号

2. ジェネラル・メモリー・ピストンの番号

3. トランスポーズの状態

設定値（半音単位）
-6 ～ +5

4. 基準ピッチ（マスター・チューニング）

設定値（Hz）
392：VERSAIL（VERSAILLES）
415：BAROQUE
440：MODERN（標準）
465：VENETIA（VENETIAN）

メモ

基準ピッチを、各設定値の間の値にすることもできます。

5. テンペラメント（調律法）

設定値
EQUAL、WERCK.、KIRN.1、KIRN.3、VALLO.、MEAN.D、MEAN.E、PYTHG.、M.BACH

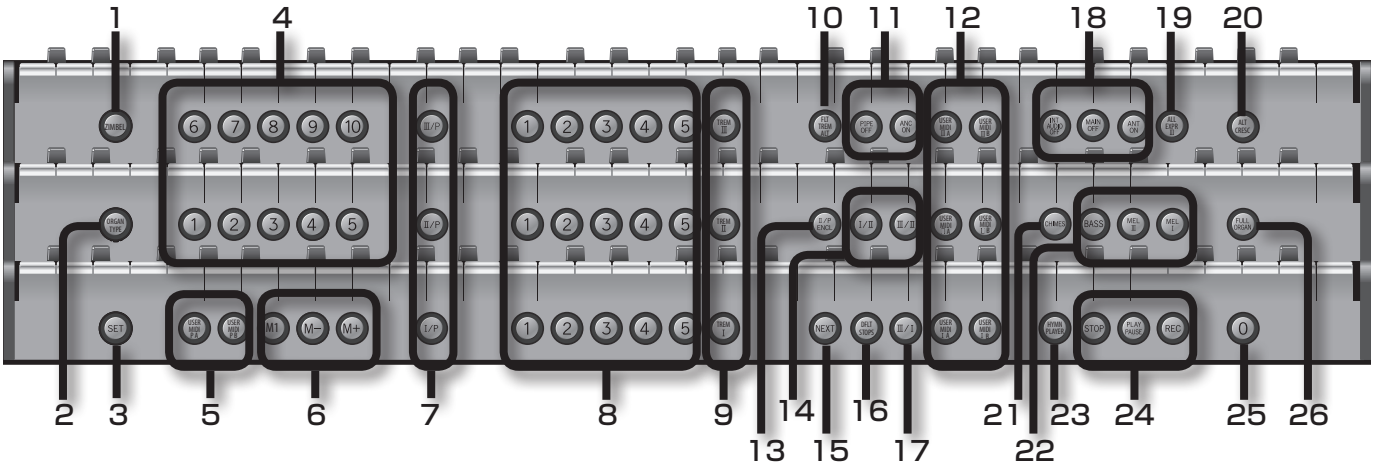
6. MIDI ビジュアル・コントロール機能をオンしたとき表示されます

7. クレッシェンド・ペダルの状態

8. MAN-III エクスプレッション・ペダルの踏み込み量

9. MAN-I エクスプレッション・ペダルの踏み込み量

ピストンについて

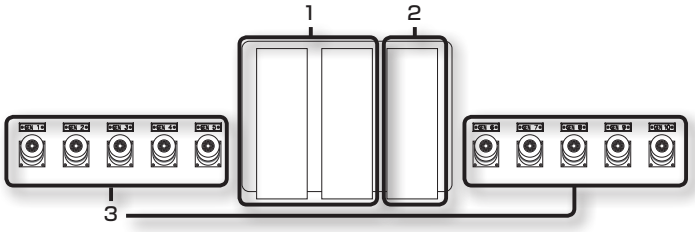


ピストン		説明
1	[ZIMBEL] ピストン	ツィンベルシュテルン（パイプオルガンに使われる装飾効果音）を鳴らすことができます。
2	[ORGAN TYPE] ピストン	オルガン・タイプを選びます。
3	[SET] ピストン	ストップの状態（レジストレーション）を、ジェネラル・メモリー・ピストン、ディビジョン・メモリー・ピストンに記憶させます。
4	ジェネラル・メモリー・ピストン	オルガン全体のストップの状態（レジストレーション）を記憶します。
5	USER ／ MIDI カプラー・ペダル	User ／ MIDI カプラーを使って、演奏することができます。詳しくは『USER ／ MIDI Coupler』（P.16）をご覧ください。
6	メモリー・バンク・セレクト [M −] ピストン／ [M +] ピストン [M1] ピストン	メモリー・ピストンの組み合わせ（バンク）を切り替えます。[M1] ピストンを押すと、メモリー・バンク 1 に切り替わります。
7	PEDAL ディビジョン・カプラー・ピストン	足鍵盤を弾いて、MAN I ～ III ディビジョンの音色が鳴る設定にするピストンです。PEDAL ディビジョン・カプラー・タブレットと同じはたらきをします。
8	ディビジョン・メモリーピストン	MAN I～IIIディビジョンのストップの状態（レジストレーション）をそれぞれのボタンに記憶します。
9	トレミュラント・ピストン	トレミュラントを加えることで、MAN I ～ III 音色にビブラート（周期的なトレモロ効果）を加えることができます。詳しくは『Tremulant』（P.18）をご覧ください。
10	フルート・トレミュラント ALT ピストン	フルート音色に、ビブラート（周期的なトレモロ効果）を加えることができます。ゴスペルやシアター・オルガンに最適な音色を得ることができます。 2 つの独立したフルート・トレミュラント設定を切り替えることができます。[FLT TEM ALT] ピストンを押して点灯させると、もう 1 つのフルート・トレミュラント設定に切り替わります。詳しくは『Tremulant』(P.18)をご覧ください。

ピストン		説明
11	[PIPES OFF] ピストン	[PIPES OFF] ピストンをオンにすると、パイプへの送風が止まります。 ※ オプションのパイプ・システムを接続したときに使用します。
	[ANC ON] ピストン	[ANC ON] ピストンをオンにすると、通常はパイプ音を鳴らすように設定されているストップがデジタル音になります。このときのデジタル音をアンシラリーといいます。 ※ オプションのパイプ・システムを接続したときに使用します。
12	USER ／ MIDI カプラー MAN I ～ III	User ／ MIDI カプラーを使って、演奏することができます。詳しくは『USER ／ MIDI Coupler』（P.16）をご覧ください。
13	MAN II & PEDAL エンクローズド・ピストン	エクスプレッション・ペダルで、MAN II ディビジョンと PEDAL ディビジョンの音量を調節します。
14	MAN IIディビジョン・カプラー・ピストン	第二鍵盤を弾いて MAN I ディビジョン（第一鍵盤）と MAN III ディビジョン（第三鍵盤）の音色が鳴る設定にするピストンです。MAN II ディビジョン・カプラー・タブレットと同じはたらきをします。
15	[NEXT] ピストン	1 → 2 → 3（[NEXT] ピストン）というように、次のジェネラル・メモリー・ピストンに記憶されているレジストレーションを呼び出します。
16	[DFLT STOPS] ピストン	ストップ（音色）が選択されていない状態（全タブレット消灯）になり、ボイス・パレットが基本設定 VP0 になります。詳しくは『ストップのバリエーション（ボイス・パレット）を選ぶ』（P.23）をご覧ください。
17	MAN I ディビジョン・カプラー・ピストン	第一鍵盤を弾いて MAN III ディビジョン（第三鍵盤）の音色が鳴る設定にするピストンです。MAN I ディビジョン・カプラー・タブレットと同じはたらきをします。
18	[INT AUDIO OFF] ピストン	本体スピーカーとサテライト・スピーカーを消音します。
	[MAIN OFF] ピストン	外部メイン・スピーカーを消音します。
	[ANT ON] ピストン	外部アンティフォナル・スピーカーを鳴らします。 アンティフォナル・スピーカーという名前は、通常、オルガン本体から離れた場所に設置することから、そう呼ばれるようになりました。 この距離のおかげで、いろいろな効果をつくることができるのです。

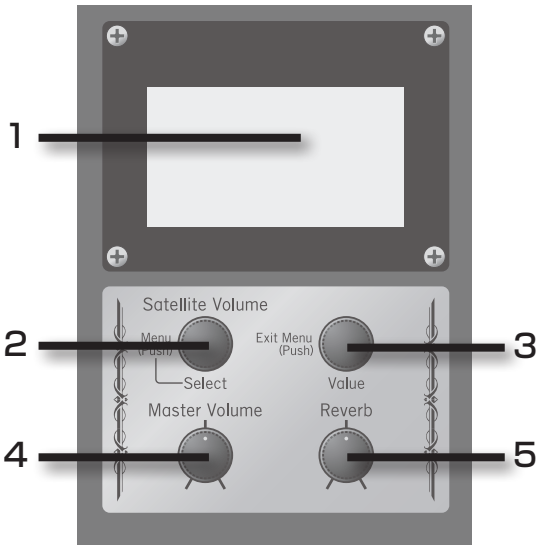
ピストン		説明
19	オール・エクスプレッション MAN III ピストン	MAN III エクスプレッション・ペダルで、MAN I、MAN II、PEDAL の音量を調節できます。
20	[ALT CRESC] ピストン	2 つの独立したクレッシェンド設定を切り替えることができます。[ALT CRESC] ピストンを押して点灯させると、もう 1 つのクレッシェンド設定に切り替わります。詳しくは、『クレッシェンドの設定を変える』(P.27)をご覧ください。
21	[CHIMES] ピストン	チャイム音色を鳴らします。
22	バス・カプラー [BASS] ピストン	第二鍵盤の演奏の最低音を PEDAL ディビジョン（足鍵盤）の音色で鳴らします
	メロディー・カプラー [MEL III] ピストン	第二鍵盤の演奏の最高音を、MAN III ディビジョン（第三鍵盤）の音色で鳴らします。
	メロディー・カプラー [MEL I] ピストン	第二鍵盤の演奏の最高音を、MAN I ディビジョン（第一鍵盤）の音色で鳴らします
23	[HYMN PLAYER] ピストン	賛美歌を演奏するときに使用します。
24	[STOP] ピストン	演奏データの再生を停止、または録音を停止します。
	[PLAY ／ PAUSE] ピストン	演奏データの再生を開始したり、一時停止したりします。
	[REC] ピストン	演奏を録音します。
25	ジェネラル・キャンセル [0] ピストン	タブレットやカプラーをすべてキャンセルして、音色が何も選ばれていない状態にします。レジストレーションを最初から設定する場合は、このピストンを使うと便利です。
26	[FULL ORGAN] ピストン	[FULL ORGAN] ピストンをオンにすると、そのときに使っているレジストレーションをキャンセルしなくても、素早くフル・オルガンの設定を呼び出すことができます。

トゥ・ピストンについて



ペダル／ピストン		説明
1	エクスプレッション・ペダル	左のペダルで MAN I/II/PEDAL の音量を調節し、中央のペダルで MAN III の音量を調節します。
2	クレッシェンド・ペダル	このペダルを踏むと、あらかじめ設定しておいたストップをだんだんと追加していきます。
3	10× トゥ・ピストン	ジェネラル・メモリー・ピストン 1 ～ 5
		ペダル・ディビジョン・カプラー・ピストン ペダルで MAN I ～ III の音を揺らします。
		[FULL ORGAN] ピストン

ディスプレイとパネル



1. ディスプレイ

各種情報を表示します。

2. [Select ／ Menu] つまみ／ [Satellite Volume] つまみ

回す： サテライト・スピーカーの音量を調整します。詳細な設定を行うメニュー画面に入ったときは、操作する項目を選びます。

押す： メニュー画面に入ったり、設定対象とする項目を決定したりします。

メモ

本体のスピーカーとサテライト・スピーカーの音量バランスを記憶することができます。詳しくは『設定内容を記憶させる（カスタマイズ）』（P.22）をご覧ください。

3. [Value ／ Exit Menu] つまみ

回す： 設定値を変更します。

押す： 一つ前のメニューに戻ったり、操作を中止したりします。

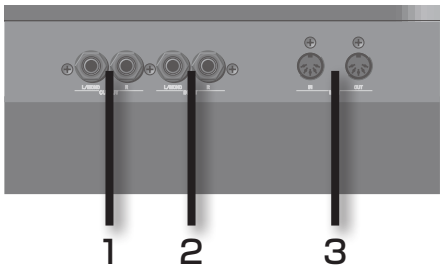
4. [Master Volume] つまみ

オルガン全体の音量を調整します。

5. [Reverb] つまみ

リバーブ（残響）の深さを調整します。

外部接続端子



1. OUTPUT L ／ MONO、R（アウトプット）端子

アンプ内蔵の外部スピーカーなどを接続して、本体の音を接続したスピーカーから鳴らします。

2. INPUT L ／ MONO、R（インプット）端子

他の音源機器と接続し、本体のスピーカーから他の音源機器の音を鳴らすことができます。

3. MIDI IN、OUT 端子

外部 MIDI 機器と接続して、演奏情報をやりとりすることができます。

※他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

※USB メモリーは挿入方向や表裏に注意して、確実に奥まで差し込んでください。また無理な挿入はしないでください。

※本機は回路保護のため、電源をオンにしてからしばらくは動作しません。

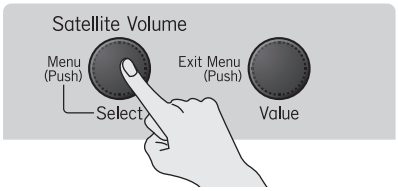
※電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

※完全に電源を切る必要があるときは、本機の電源スイッチを切った後、コンセントからプラグを抜いてください。詳しくは「使用上のご注意」の『電源について』(P.6) をお読みください。

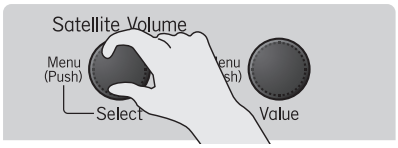
メニューの設定方法

メニューで設定をするときの操作です。基本画面から次の操作を行ってください。設定できる項目については、次ページを参照ください。

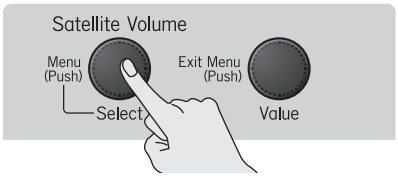
1. [Select ／ Menu] つまみを押して、メニューを表示します。



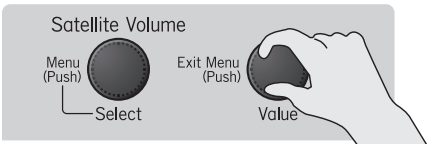
2. [Select ／ Menu] つまみを回して、設定項目を選びます。



3. [Select ／ Menu] つまみを押して、設定項目に入ります。

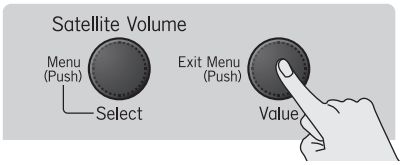


4. [Value ／ Exit Menu] つまみを回して、設定値を変更します。

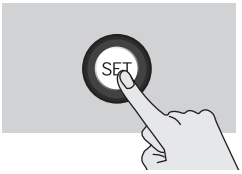


設定のキャンセル／前のメニューに戻るには ...

[Value ／ Exit Menu] つまみを押します。



5. Yes ／ No 確認画面が表示された場合は、[SET] ピストンを押して設定を実行します。



メニュー一覧

以下の設定は、本体の電源を切ると初期値に戻りますが、いくつかの設定は、電源を切ったあとも設定した内容を記憶させておくこともできます。

[S] マークの設定項目	SYSTEM グループに記憶することができます。	詳しくは『設定内容を記憶させる（カスタマイズ）』(P.22) をご覧ください。
[D] マークの設定項目	DEFAULT.STOPS グループに記憶することができます。	
[P] マークの設定項目	ピストンごとに設定を記憶することができます。	詳しくは『レジストレーションを記憶する／呼び出す』(P.24)をご覧ください。

Demo

デモ曲の再生

※これらのデモ曲を個人で楽しむ以外に権利者の許諾なく使用することは、法律で禁じられています。

※デモ・ソングの演奏データは MIDI OUT 端子からは出力されません。

設定項目	設定値	説明
Group	デモ・ソング・グループ	
Song	デモ・ソング	
Tempo	デモ・ソングのテンポ	
Satellite Volume	0 ～ 127	サテライト・スピーカーの音量

USB Memory

USB メモリーのフォルダーを選択

設定項目	設定値	説明
Folder	A ～ Z	USB メモリーのフォルダーを選ぶ

Hymn Player

賛美歌と前奏曲の演奏

設定項目	設定値	説明
Mode	–	賛美歌か前奏曲かを選びます。
Hymn number	–	賛美歌の番号を選びます。
Next	Intro, Verse	イントロかメイン節を選びます。
Play Mode [S]	VAR.	Prelude（前奏曲）は、ランダム選曲で演奏を開始します。
	FIXED	Prelude（前奏曲）は、最初の曲から演奏を開始します。
Tempo	20 ～ 240	テンポ
Volume [S]	0% ～ 100%	音量
Transpose	-6 ～ +5	半音単位で移調することができます。
Book [S]	–	賛美歌集を選びます。

Song Recorder

演奏の録音と再生の設定、演奏データの保存、削除、コピー

設定項目	設定値	説明
Source	USB	USB メモリーに保存されている演奏データを再生します。
	INTERNAL	本体メモリーに保存されている演奏データを再生します。
	PRESET	本体に内蔵されているプリセット曲（デモ曲）を再生します。
Song	ソング名	
Tempo	『Beat』（P.14）参照	ソングのテンポ
Measure	ソングの小節数	
[Division Mute]	『あるディビジョンをミュートして再生する』、『あるディビジョンをガイド音色で再生する』（P.30）をご覧ください。	
MAN-III	MUTE、GUIDE、PLAY	各ディビジョンの演奏をミュート（消音）します。
MAN-II	MUTE、GUIDE、PLAY	
MAN-I	MUTE、GUIDE、PLAY	
Pedal	MUTE、GUIDE、PLAY	
Guide Volume [S]	1 ～ 10	ガイド音色の音量を調節します。
Guide Tone [S]	F16、P16、R16、F8、P8、R8、F4、P4、R4 F：フルート P：プリンシパル R：リード 数字：フィート	ガイド音色を選びます。
Playback Transpose	-6 ～ +5	半音単位で移調することができます。
Play Mode	OFF	選択した曲のみ再生します。
	CHAIN	選択しているメディアにあるすべての曲を連続して再生します。
Metronome Volume	OFF、1 ～ 10	メトロノームの音量です。メトロノームを鳴らしたくない場合は、「OFF」に設定します。
Beat	ソングまたはメトロノームの拍子（Beat）です。 設定可能なテンポ（Tempo）の範囲は、拍子（Beat）の設定によって変化します。	
	拍子（Beat）	**設定可能なテンポの範囲**
	2/2	10 ～ 120
	0/4、2/4、3/4、4/4、5/4、6/4、7/4	20 ～ 240
	3/8	40 ～ 480
	6/8、9/8、12/8	13 ～ 160
[Save Song]	『録音した演奏を保存する』（P.31）をご覧ください。	
[Delete Song]	『保存されている演奏データを消す』（P.32）をご覧ください。	
[Copy Song]	『演奏データをコピーする』（P.33）をご覧ください。	

Pitch ／ Tuning

ピッチ、調律、チューニング、移調の設定

設定項目	設定値	説明
Pitch	基準ピッチを、バロック・ピッチとしてよく使われる「A=415.0Hz」や、ヴェルサイユ・ピッチ「A=392.0Hz」に変更することができます。	
	VERSAILLES	392（Hz）
	BAROQUE	415（Hz）
	MODERN	440（Hz）
	VENETIAN	465（Hz）
Temperament	バロックなどの古典音楽を、当時の調律法で演奏することができます。	
	EQUAL（平均律）	1 オクターブを、12 等分した調律です。転調しても和音の響きは変わりません。
	WERCK. （ベルクマイスター）	中全音律とピタゴラス音律を組み合わせた調律です。すべての調での演奏ができます（第一技法第三番）。
	KIRN.1 （キルンベルガー 1）	中全音律と純正調を改良し、転調の自由度を高めた調律法です。すべての調での演奏ができます（第一法）。
	KIRN.3 （キルンベルガー 3）	キルンベルガー 1 のバリエーションです（第三法）。
	VALLO. （ヴァロッティ）	比較的新しい調律法です。平均律に近いですが、ある程度純正なので他の楽器との音程が取りやすく、現在ではアンサンブルでよく使用されているようです。
	MEAN.D（中全音律: ミーントーン）	純正調を一部妥協させて、ある程度の転調を可能にした音律です。D ♯の響きを優先します。
	MEAN.E（中全音律: ミーントーン）	純正調を一部妥協させて、ある程度の転調を可能にした音律です。E ♭の響きを優先します。
	PYTHG. （ピタゴラス）	音律哲学者ピタゴラスによって考えられた 4 度と 5 度の濁りをなくした調律です。3 度の和音に濁りが生じますが、メロディーはきれいに聴こえます。
	M.BACH （モダン・バッハ）	近年研究されたバッハの時代の調律方法の一つです。すべての調での演奏ができます。
Tuning	415.3 ～ 466.1Hz	選んだピッチの設定の設定値を中心に ±100 セント（半音）変化します。
Transpose	-6 ～ +5	「トランスポーズ機能」を使うと、自分が弾く鍵盤の位置を変えずに、半音単位で移調して演奏することができます。 **メモ** 基本画面で、［SET］ピストンを押しながら、［Value ／ Exit Menu］つまみを回して移調することができます。 基本画面で、［0］ピストンを押すと、トランスポーズをオフにできます。

Room Modeling

リバーブの設定

設定項目	設定値	説明
Room Type [S]	ルーム・タイプを変えることにより、さまざまなタイプの部屋の残響をシミュレートします。	
	CHAMBER	パイプ・チェンバー（パイプ室）の残響
	HALL	ホールの残響
	CHURCH	教会の残響
	CATHEDRAL	大聖堂の残響
Wall Type [S]	ウォール・タイプ（壁の種類）を変えることで、さらに音の響きかたを調節することもできます。	
	DRAPERY	ひだのあるカーテン
	WOOD	木
	BRICK	レンガ
	MARBLE	大理石

USER ／ MIDI Coupler

- 音色タブレットとストップ以外の音色を選ぶ
- MIDI カプラーの設定
- 音色の調節

設定項目	設定値
Division	MAN-III A、MAN-III B、MAN-II A、MAN-II B、MAN-I A、MAN-I B、PEDAL A、PEDAL B

※Source ／ MIDI CH の設定で詳細項目が変わります。

設定項目	設定値	説明
Source ／ MIDI CH［D］［P］	USER	内部音源
	CH1 ～ 16	送信 MIDI チャンネル

選択しているディビジョンにより設定範囲が変わります。

Source ／ MIDI CH = USER のとき

設定項目	設定値	説明
Name［D］［P］	音色名	音色名で選びます。
Volume［D］［P］	OFF、0 ～ 127	音量を設定します。
Octave［D］［P］	-2 ～ +2、NORMAL	音の高さをオクターブ単位で設定します。
Coarse Tune［V］［P］	-12 ～ +12	半音単位でピッチを調整します。
Fine Tune［D］［P］	-50 ～ +50	± 50 セントの範囲でピッチを調整します。
Warmth［D］［P］	-10 ～ 10	［USER ／ MIDI］カプラーに割り当てた音の低音域の調整をします。
Presence［D］［P］	-10 ～ 10	［USER ／ MIDI］カプラーに割り当てた音の中音域の調整をします。
Brilliance［D］［P］	-10 ～ 10	［USER ／ MIDI］カプラーに割り当てた音の高音域の調整をします。
Reverb［D］［P］	OFF、0 ～ 127	音色の残響（リバーブ）の深さを微調整します。 通常は、「OFF」に設定してください。
Velocity［D］［P］	KBD	鍵盤のベロシティーに対応します。
	EXP	エクスプレッション・ペダルの踏み込み量に対応します。
	2 ～ 127	設定値をベロシティーとして使用します。
	※ Velocity は、オーケストラ音色のみに有効です。	

Source ／ MIDI CH = CH1 ～ 16 のとき

設定項目	設定値	説明
Name［D］［P］	音色名	音色名で選択（『Tone Name［S］』（P.20）参照）
PC Number［D］［P］	OFF、001 ～ 128	プログラム・チェンジ・ナンバー
Bank MSB［D］［P］	OFF、000 ～ 127	バンク・セレクト MSB
Bank LSB［D］［P］	OFF、000 ～ 127	バンク・セレクト LSB
Volume［D］［P］	OFF、0 ～ 127	音量
Octave［D］［P］	-2 ～ +2、NORMAL	オクターブ・シフト
Reverb［D］［P］	OFF、0 ～ 127	リバーブ量
Chorus［D］［P］	OFF、0 ～ 127	コーラス量

設定項目	設定値	説明
Velocity [D] [P]	KBD	鍵盤のベロシティーに対応します。
	EXP	エクスプレッション・ペダルの踏み込み量に対応します。
	2 ～ 127	設定値をベロシティーとして使用します。
Expression [D] [P]	OFF、ON	エクスプレッション・ペダル

MIDI 送信チャンネルについて

[USER ／ MIDI] カプラーがオンのとき

各［USER ／ MIDI］カプラーの MIDI チャンネルが重複するのを避けるため、送信 MIDI チャンネルは以下のように固定されています。

ディビジョン（鍵盤）	タブレット名	MIDI チャンネル
MAN I（第一鍵盤）	USER MIDI A	CH4（固定）
	USER MIDI B	CH8（固定）
MAN II（第二鍵盤）	USER MIDI A	CH1 ～ CH16
	USER MIDI B	CH5（固定）
MAN III（第三鍵盤）	USER MIDI A	CH2（固定）
	USER MIDI B	CH6（固定）
PEDAL（足鍵盤）	USER MIDI A	CH3（固定）
	USER MIDI B	CH7（固定）

[USER ／ MIDI] カプラーがオフのとき

[USER ／ MIDI] カプラーがオフになっている状態でも、各ディビジョンの演奏情報は、以下の MIDI チャンネルで送信されます。

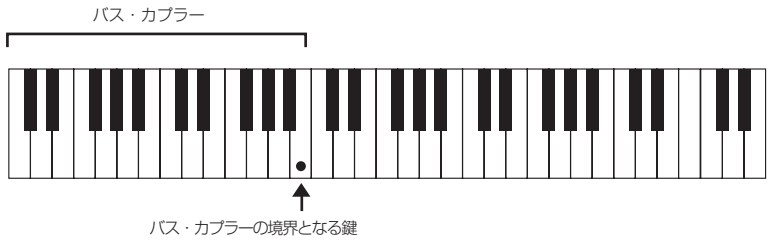
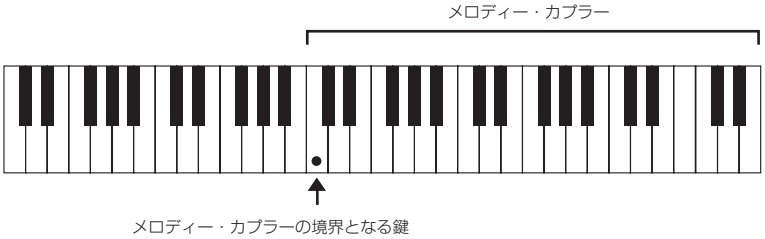
必要に応じて、接続する MIDI 機器の MIDI データの受信の設定を変更してください。

ディビジョン（鍵盤）	MIDI チャンネル
MAN I（第一鍵盤）	CH15（固定）
MAN II（第二鍵盤）	CH12（固定）
MAN III（第三鍵盤）	CH13（固定）
PEDAL（足鍵盤）	CH14（固定）

※ [USER ／ MIDI] カプラーを使って外部 MIDI 音源をコントロールする場合は、外部 MIDI 機器側で CH12 ～ 15 のメッセージを受信しない設定にしておくことをおすすめします。

Console

- 画面のコントラスト
- MEL、BASS カプラーの境界など各種設定

設定項目	設定値	説明
Display Contrast [S]	0 ～ 30	ディスプレイのコントラストを調節します。 ※ この設定は、本体の電源を切ると初期値に戻りますが、電源を切ったあとも設定した内容を記憶させておくこともできます。詳しくは『設定内容を記憶させる（カスタマイズ）』（P.22）をご覧ください。
Bass Split [S]	バス・カプラーの効果がかかる範囲を変えることができます。境界となる鍵より低い鍵域で、バス・カプラーの効果が有効になります。  	
Mel III Split [S] Mel I Split [S]	メロディー・カプラーの効果がかかる範囲を変えることができます。境界となる鍵より高い鍵域で、メロディー・カプラーの効果が有効になります。  	

設定項目	設定値	説明
Blind [S]	BLIND	[FULL ORGAN] ピストンを押したりクレッシェンド･ペダルを押しても、タブレットのランプは点灯しません。
	VISIBLE	[FULL ORGAN] ピストンを押したりクレッシェンド・ペダルを押したりしたとき、タブレットを点灯します。
	OPERATE	[FULL ORGAN] ピストンを押したりクレッシェンド・ペダルを押したりしたとき、タブレットを点灯します。さらにタブレットを操作できます。
Auto Off [S]	OFF、10 min、30 min、240 min	240 min に設定すると、オルガンを 240 分間操作しない場合は、自動的に電源が切れます。 **ご注意** 自動的に電源が切れた後は、電源スイッチをオフにして、5 秒以上経ってからオンにしてください。 ⚠ 警告 本機は演奏や操作をやめてから 240 分間経過すると、自動的に電源が切れます（工場出荷時の設定）。自動で電源を切る必要がない場合は、「OFF」に設定してください。
Music Rest Lamp [S]	OFF、1 ～ 16	譜面台ランプの明るさを設定します。
Piston lamp [S]	1 ～ 16	ピストン、タブレットの明るさを設定します。
KBD Transfer [S]	OFF, ON	第一鍵盤と第二鍵盤を入れ替えて、フランス式オルガンとして使うことができます。

Tremulant

トレミュラントを加えることで音色にビブラート（周期的なトレモロ効果）を加えることができます。

設定項目	設定値	説明
Division	MAN-I	MAN-I のトレミュラントを設定します。
	MAN-II	MANI-II のトレミュラントを設定します。
	MAN-III	MANI-III のトレミュラントを設定します。
	M-I FLUTE	MAN-I のフルート・トレミュラントを設定します。
	M-II FLUTE	MAN-II のフルート・トレミュラントを設定します。
	M-III FLUTE	MAN-III のフルート・トレミュラントを設定します。
	M-I FLUTE2	MAN-I のフルート・トレミュラント 2 を設定します。
	M-II FLUTE2	MAN-II のフルート・トレミュラント 2 を設定します。
	M-III FLUTE2	MAN-III のフルート・トレミュラント 2 を設定します。
Depth [S]	0 ～ 127	「0」のときはトレミュラントがかかりません。値を大きくするほどトレミュラントが深くかかります。
Rate [S]	0 ～ 127	「0」のときはゆっくりとしたトレミュラントがかかり、値を大きくするほど速くなります。

Exp. Pedal

エクスプレッション・ペダルの設定

設定項目	設定値	説明
MAN-II/Pedal [P]	OFF	エクスプレッション・ペダルの操作では音量は変化しない。
	ON	エクスプレッション・ペダルの操作で、MAN II ディビジョンと PEDAL ディビジョン音量が変化する。
MAN-III [P]	OFF	エクスプレッション・ペダルの操作では音量は変化しない。
	ON	エクスプレッション・ペダルの操作で、MAN III ディビジョン音量が変化する。
Shutter [S]	エクスプレッション・ペダルを最小の位置にしたときの音量（最小音量）の大きさを設定することができます。	
	PPPP	最も小さい
	PPP	小さい
	PP	やや大きい
	UNENCL	エクスプレッション・ペダルの操作では音量は変化しない

設定項目	設定値	説明
Kick SW［S］	エクスプレッション・ペダルの横には、キック・スイッチがあります。このキック・スイッチに機能を割り当てることができます。	
	OFF	機能を割り当てません。
	NEXT	［NEXT］ピストンと同じ機能を割り当てます。次のジェネラル･メモリー･ピストンに切り替える機能です。キック・スイッチを押すごとに、数字が大きくなる方向にジェネラル・メモリー・ピストンが切り替わります。
	PREV	［PREV］ピストンと同じ機能を割り当てます。前のジェネラル･メモリー･ピストンに切り替える機能です。キック・スイッチを押すごとに、数字が小さくなる方向にジェネラル・メモリー・ピストンが切り替わります。
	SUSTAIN	スイッチを押している間、サステインがかかります。 ※ サステインのかかる音色は、［USER ／ MIDI］カプラーの一部音色、外部 MIDI 音源の音色です。 ※ オルガンの音色には、サステインはかかりません。

Crescendo

クレッシェンドの設定

設定項目	設定値	説明
Crescendo Step	0 ～ 63	『クレッシェンドの設定を変える』（P.27）をご覧ください。

Audio

外部機器の設定

設定項目	設定値	説明
Aux In Volume［S］	0 ～ 127	本機の INPUT 端子に接続した機器の音量を調整します。
Aux In Reverb［S］	0 ～ 127	本機の INPUT 端子に接続した機器のリバーブの深さを調整します。
Line Out Gain［S］	0 ～ 127	本機の OUTPUT 端子から出力する音量を調節します。 ※ Master Volume と Line Out の音量バランスを記憶します。このため、Line Out Gain 設定値は Master Volume の値によって変化します。
Master Volume［S］	KNOB、 1 ～ 127	全体の音量を調整します。 KNOB に設定したとき、Master Volume つまみで調整できます。 1 ～ 127 に設定したとき、Master Volume つまみと Line Out Gain は効きません。
［Division Audio］	外部のメイン・スピーカー、アンティフォナル・スピーカーの音量を設定します。 ［MAIN OFF］、［ANT ON］ピストンを押す／押さないの組み合わせで、４通りの設定を持つことができます。	
MAN-I to Main［S］	0 ～ 127	MAN-I のメイン・スピーカーへの音量
MAN-I to Ant［S］	0 ～ 127	MAN-I のアンティフォナル・スピーカーへの音量
MAN-II to Main［S］	0 ～ 127	MAN-II のメイン・スピーカーへの音量
MAN-II to Ant［S］	0 ～ 127	MAN-II のアンティフォナル・スピーカーへの音量
MAN-III to Main［S］	0 ～ 127	MAN-III のメイン・スピーカーへの音量
MAN-III to Ant［S］	0 ～ 127	MAN-III のアンティフォナル・スピーカーへの音量
PEDAL to Main［S］	0 ～ 127	PEDAL のメイン・スピーカーへの音量
PEDAL to Ant［S］	0 ～ 127	PEDAL のアンティフォナル・スピーカーへの音量
ORCH to Main［S］	0 ～ 127	オーケストラ音色のメイン・スピーカーへの音量
ORCH to Ant［S］	0 ～ 127	オーケストラ音色のアンティフォナル・スピーカーへの音量
AUX-IN to Main［S］	0 ～ 127	INPUT 端子に接続した機器のメイン・スピーカーへの音量
AUX-IN to Ant［S］	0 ～ 127	INPUT 端子に接続した機器のアンティフォナル・スピーカーへの音量
Reverb to Main［S］	0 ～ 127	リバーブ音のメイン・スピーカーへの音量
Reverb to Ant［S］	0 ～ 127	リバーブ音のアンティフォナル・スピーカーへの音量

MIDI

MIDI の設定

設定項目	設定値	説明
Local	MIDI シーケンサーを接続したときには、この項目で、ローカル・オフに設定します。	
	OFF	ローカル・オフになります。鍵盤と内部の音源が切り離された状態です。鍵盤を弾いても音は鳴りません。
	ON	ローカル・オンになります。鍵盤と内部の音源がつながっている状態です。
Tone Name [S]	［USER ／ MIDI］カプラーを使って MX-200 や GM2 対応の外部 MIDI 音源を使用する場合、「USER ／ MIDI」画面に MX-200 や GM2 対応音源の音色名を表示させることができます。	
	OFF	音色名は表示されません。
	MX200	外部 MIDI 音源に MX-200 を接続したときのために MX-200 の音色名が表示されます。
	GM2	外部 MIDI 音源に GM2 対応の音源を接続したときのために GM2 の音色名が表示されます。
TX Piston [S]	ジェネラル･メモリー･ピストン、ディビジョン･メモリー･ピストンを押したとき、どのような MIDI メッセージを送信するかを選びます。	
	OFF	MIDI メッセージを送信しません。
	STOP MAP	押したピストンがどのような音色で発音するかの情報をすべて含んだメッセージを送信します。MIDI シーケンサーを接続して演奏を記録する場合、音色の再現性が高くなります。ただし、ピストンを押したときに大量のメッセージが送信されますので、ピストンを押した直後の発音が遅れる場合もあります。
	PC	どのメモリー・バンクが使われているかという情報と、どのメモリー・ピストンを押したのかという情報のみを、プログラム・チェンジとして送信します。MIDI シーケンサーを接続して演奏を記録する場合、再生時も同じメモリー・バンクを使用しないと音色が正確に再現されません。ただし、送信されるメッセージが少ないため、ピストンを押した直後のノート・オン情報の発音遅れは、ほとんどありません。
Visual Control	MVC や V-LINK に対応した外部機器を接続すると、オルガンを演奏しながら、映像機器の映像をコントロールすることができるようになります。ジェネラル・メモリー・ピストンを押すと、MIDI OUT 端子から映像コントロール用のメッセージが送信され、映像機器の映像をコントロールすることができます。	
	OFF	MIDI ビジュアル・コントロール機能をオフします。
	MVC	MVC がオンになります。
	V-LINK	V-LINK がオンになります。

外部 MIDI 機器の音色の選択

音色名の表示について

MX-200やGM2対応音源を接続し、『Tone Name［S］』(P.20) で音源の種類を設定すると、「USER ／ MIDI Coupler」画面の「Name」欄に音色名が表示され、名前で音色を選択できるようになります。

鍵盤を弾いて選ぶ

以下の操作で外部 MIDI 機器の音色を選択することができます。

1. **目的の［USER ／ MIDI］カプラーをオンにします。**
2. **Source ／ MIDI CH=CH1−16 に設定します。**
3. **［SET］ピストンを押しながら鍵盤を弾きます。［USER ／ MIDI］カプラーが点滅します。**

   弾いた鍵に対応するプログラム・チェンジが送信され、MIDI 機器の音色が変わります。

   各鍵盤と対応するプログラム・チェンジは以下のとおりです。

鍵盤	音名	プログラム・チェンジ
第一鍵盤	C2 ～ C7	1 ～ 61
第二鍵盤	C2 ～ C7	62 ～ 122
第三鍵盤	C2 ～ F2	123 ～ 128

Save ／ Load（USB）

ジェネラル・メモリー・ピストンやボイス・セットアップの内容の保存／読み込みや USB メモリーの初期化

設定項目	説明
Copy Memory Bank	『メモリー・バンクをコピーする』（P.35）をご覧ください。
Delete Memory Bank	『USB メモリーに保存されているメモリー・バンクを削除する』（P.35）をご覧ください。
Save Voice Setup	『ボイス・セットアップの保存と読み込み』（P.36）をご覧ください。
Load Voice Setup	『ボイス・セットアップを読み込む』（P.36）をご覧ください。
Delete Voice Setup	『ボイス・セットアップを削除する』（P.36）をご覧ください。
Format USB Memory	『USB メモリーの初期化』（P.35）をご覧ください。

Utility

データのバックアップや初期化

設定項目	説明
Version	『バージョンを表示する』（P.37）をご覧ください。
Back up ／ Restore	『データをバックアップ／ロードする』（P.37）をご覧ください。
Factory Reset	『製品出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）』（P.37）をご覧ください。

設定内容を記憶させる（カスタマイズ）

以下の設定内容は、本体の電源を切ると初期値に戻りますが、この操作によって設定内容を記憶させておくこともできます。

設定値	グループ
Default Voice Palette ※	DEFAULT STOPS
「User ／ MIDI coupler」画面での設定	
「Room Modeling」画面での設定	SYSTEM
「Console」画面での設定	
「Tremulant」画面での設定	
「Exp. Pedal」画面での設定	
「Audio」画面での設定	
Satellite Volume の相対値	
「MIDI」画面での設定	
「Song Recorder」画面の設定のうち Guide Tone と Guide Volume	
賛美歌集	

※Default Voice Palette とは

あるタブレットをオンにしたときに、どのバリエーション音色を鳴らすか、という情報が「Default Voice Palette」です。

よく使うバリエーション音色を指定しておけば、バリエーション音色を選ぶことなく、タブレットを選ぶだけでそのバリエーション音色が鳴るようになります。

1. ［SET］ピストンを押しながら［0］ピストンを押します。

確認画面が表示されます。

2. ［Value ／ Exit Menu］つまみを回して、記憶させる設定のグループを選びます。

- 「DEFAULT STOPS」を選ぶと、DEFAULT STOPS グループの各設定内容が記憶されます。
- 「SYSTEM」を選ぶと、SYSTEM グループの各設定内容が記憶されます。

3. ［SET］ピストンを押します。

キャンセルする場合は、［Value ／ Exit Menu］つまみを押します。

ご注意！

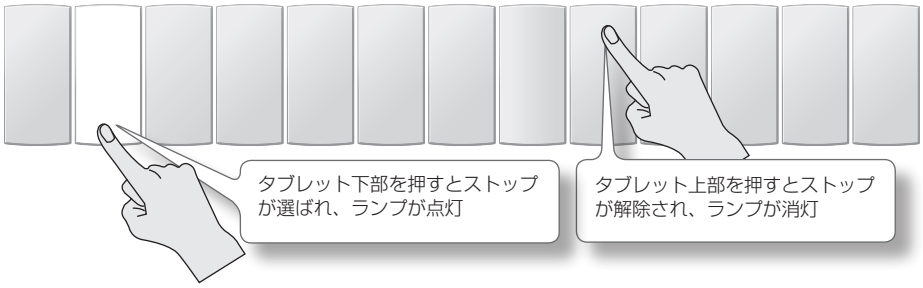
ディスプレイに「Executing」と表示されている間は、電源を切らないでください。

ストップ（音色）を選ぶ

音色タブレットを押すことで、さまざまなパイプ・オルガンの音色を鳴らすことができます。タブレットに割り当てられている音色を「ストップ」と呼びます。

音色タブレットはディビジョンごとにグループに分けられています。これらのタブレットを「ディビジョン・タブレット」と呼びます。

各ディビジョン・タブレットのランプを点灯させるとストップを鳴らすことができます。



ストップのバリエーション（ボイス・パレット）を選ぶ

1. 基本画面で音色タブレットの下部を押します。

「Voice Palette」画面が表示され、選ばれているストップのバリエーションが表示されます。

※タブレットを押した後でランプが一瞬点滅するときは、すでにストップのバリエーションが選ばれている状態を示します。

※「Voice Palette」画面が表示されないときは基本画面に戻ってから（［Value ／ Exit Menu］つまみを何度か押します）、手順 1 の操作をしてください。

2. ［Value ／ Exit Menu］つまみを回して、バリエーションを選びます。

VP0 から VP3 まで 4 つのバリエーションから選べます。

ストップの組み合わせを記憶する

ジェネラル・メモリー・ピストンについて

ジェネラル・メモリー・ピストンには、ストップ、カプラー、トレミュラントの設定を記憶することができます。記憶した設定は、電源をオフにしても保持されます。

ジェネラル・メモリー・ピストンは、1 から 10 まで全部で 10 個あり、各ピストンにレジストレーションを 1 つずつ記憶できます。ジェネラル・メモリー・ピストン 1 ～ 10 の組み合わせは「バンク」として記憶されます。たとえば、10 個のピストンと 20 のバンクを組み合わせて、最大 200 種類のレジストレーションを記憶することができます。

気に入った音色の組み合わせを記憶したいときや、演奏中に多くの音色の組み合わせを変えたいときに便利です。

ディビジョン・メモリー・ピストンについて

ジェネラル･メモリー･ピストンがオルガン全体の音色の組み合わせを記憶するのに対し、ディビジョン･メモリー･ピストンは各ディビジョンの音色の組み合わせだけが記憶されます。

ディビジョン・メモリー・ピストンの組み合わせは「バンク」として記憶されます。

レジストレーションを記憶する／呼び出す

レジストレーションを記憶する

1. ストップを組み合わせるなどして記憶したい音色が鳴る状態にします。

2. [SET] ピストンを押しながら、ジェネラル・メモリー・ピストンまたはディビジョン・メモリー・ピストンのいずれかを押します。

- ジェネラル・メモリー・ピストンを押したときは、全ディビジョンのストップの状態と、カプラー、トレミュラントの状態が記憶されます。
- ディビジョン･メモリー･ピストンを押したときは、そのピストンにディビジョンのストップの状態とトレミュラントの状態が記憶されます。

レジストレーションを呼び出す

1. ジェネラル・メモリー・ピストンまたはディビジョン・メモリー・ピストンのいずれかを押します。

音色の設定をリセットする（ジェネラル・キャンセル）

1. ジェネラル・キャンセル［0］ピストンを押します。

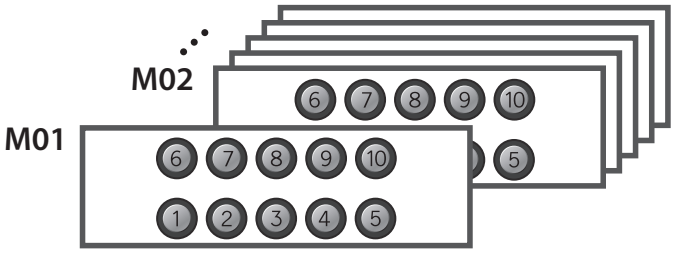
すべてのストップおよびピストンが消灯します。

ストップのバリエーションもリセットしたいときは

ジェネラル・キャンセル［0］ピストンを数秒間押し続けると、音色が何も選ばれていない状態になるのと同時に、全タブレットの音色のバリエーションの設定（Default Voice Palette）がリセットされ、基本のバリエーションに戻ります。

メモリー・バンクを使う

ジェネラル･メモリー･ピストン、またはディビジョン･メモリー･ピストンの状態を、「メモリー･バンク」として記憶させることができます。



メモリー・ピストンの組み合わせをメモリー・バンクとして記憶する

1. メモリー・バンク・セレクト［M ー］／［M ＋］ピストンを押して、記憶させるメモリー・バンクの番号を選びます。

2. ［SET］ピストンを押しながら、ジェネラル・メモリー・ピストンまたはディビジョン・メモリー・ピストンのいずれかを押します。

ご注意！

すでに保存されているメモリー・バンクの情報は上書きされます。ご注意ください。

別のメモリー・バンクからレジストレーションを呼び出す

1. 基本画面でメモリー･バンク･セレクト［M ー］／［M ＋］ピストンを押して､呼び出したいメモリー･バンクの番号を選びます。

メモ

メモリー・バンク・セレクト［M ー］／［M ＋］ピストンを押し続けると、メモリー・バンクの番号が連続して変化します。

ご注意！

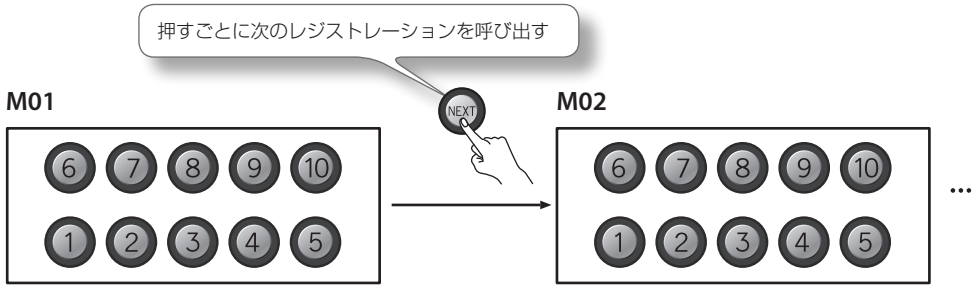
メモリー・バンク・セレクト［M ー］／［M ＋］ピストンを押しただけでは、レジストレーションは呼び出されません。

2. ジェネラル・メモリー・ピストンまたはディビジョン・メモリー・ピストンのいずれかを押します。

保存されたレジストレーションを次々に呼び出す

［NEXT］ピストンを押すだけで、ジェネラル・メモリー・ピストンに記憶された順番にレジストレーションを呼び出すことができます。

演奏会のときなど、あらかじめ演目に合わせてレジストレーションを記憶させておけば、レジストレーションを簡単に呼び出すことができます。



USBメモリーに保存されているメモリー・バンクを使う

USB メモリーを準備する

1. USB メモリーを準備するには、『USB メモリーの初期化』（P.35）をご覧ください。

USB メモリーのフォルダーを選ぶ

フォルダー A-Z を選ぶことで、メモリー・バンク、クレッシェンド、FULL ORGAN の設定を、USB メモリーに 26 通り記憶させることができます。

1. USB メモリーを USB 端子に接続します。

2. 基本画面で［Select ／ Menu］つまみを押します。

3. ［Select ／ Menu］つまみを回して、「USB Memory」を選びます。

4. ［Select ／ Menu］つまみを押して、「USB Memory」画面を表示させます。

5. ［Value ／ Exit Menu］つまみを回して、USB メモリーのフォルダーを選びます。

メモリー・ピストンの組み合わせをメモリー・バンクとして USB メモリーに記憶する

1. メモリー・バンク・セレクト［M ー］／［M ＋］ピストンを押して、記憶させるメモリー・バンクの番号を選びます。

2. ［SET］ピストンを押しながら、ジェネラル・メモリー・ピストンかディビジョン・メモリー・ピストンの 1 つを押します。

ご注意！

すでに保存されているメモリー・バンクの情報は上書きされます。ご注意ください。

USB メモリーにある別のメモリー・バンクからレジストレーションを呼び出す

1. 基本画面でメモリー・バンク・セレクト［M ー］／［M ＋］ピストンを押して、呼び出したいメモリー・バンクの番号を選びます。

メモ

メモリー・バンク・セレクト［M ー］／［M ＋］ピストンを押し続けると、メモリー・バンクの番号が連続して変化します。

ご注意！

メモリー・バンク・セレクト［M ー］／［M ＋］ピストンを押しただけでは、レジストレーションは呼び出されません。

2. ジェネラル・メモリー・ピストンまたはディビジョン・メモリー・ピストンのいずれかを押します。

FULL ORGAN の設定を変える

[FULL ORGAN] ピストンを押したときに、鳴らす音色を設定する

1. [SET] ピストンを押しながら、[FULL ORGAN] ピストンを押します。

FULL ORGAN で設定されている音色タブレットが点灯します。

2. 音色タブレットを押して、鳴らしたいストップを選びます。

※トレミュラントのタブレットは選択できません。

3. [SET] ピストンを押して、設定を保存します。

メモ

USB メモリーを接続していると、設定は USB メモリーに保存されます。

[FULL ORGAN] ピストンを押したときのタブレット・ランプ点灯／消灯を設定する

『Blind [S]』（P.18）をご覧ください。

クレッシェンドの設定を変える

1. 基本画面で [Select ／ Menu] つまみを押します。

2. [Select ／ Menu] つまみを回して、「Crescendo」を選びます。

3. [Select ／ Menu] つまみを押して、「Crescendo」画面を表示させます。

4. [Value ／ Exit Menu] つまみを回して、Crescendo Step の値を設定します。

5. 音色タブレットを押して、鳴らしたいストップを選びます。

※トレミュラントのタブレットは選べません。

6. [SET] ピストンを押して、設定を保存します。

※Step 0 には設定を保存できません。

メモ

2 つの独立したクレッシェンドの設定を持つことができます。[ALT CRESC] ピストンを押して点灯させることで、もう 1 つのクレッシェンドの設定が有効になります。

メモ

USB メモリーを接続していると、設定は USB メモリーに保存されます。

オルガン・タイプを変える

オルガン・タイプで、あるタブレットをオンにしたときにどのバリエーション音色を鳴らすか決めることのできる「Voice Palettes」を選べます。

1. [ORGAN TYPE] ピストンを押します。

2. [Select ／ Menu] つまみを回して、「Organ Type」を選びます。

設定項目	説明
American Eclectic	アメリカン・エレクトリック－20 世紀アメリカのオルガン・ビルダーによるエレクトリック・オルガンのサウンド。透明感があり、明るく澄んだ音色。
English Cathedral	イングリッシュ・カセドラル －Willis and Harrison & Harrison organ の音色。8 フィート・パイプの基音、暗めで滑らかなリード系音色が特徴。
French Romantic	フレンチ・ロマンティック－19 世紀のオルガン・ビルダー Cavaillé-Coll スタイル。暖かい 8 フィート・パイプ音色と明るいリード系音色。
German Baroque	ジャーマン・バロック－17 世紀北ドイツの Arp Schnitger organ の音色。明瞭で明るい倍音構成を持つ。

3. ［ORGAN TYPE］ピストンを押して、基本画面に戻ります。

ご注意！

ジェネラル・キャンセル［0］ピストンを数秒間押し続けると、全タブレットの音色のバリエーションの設定（Default Voice Palette）にリセットされます。

プリセット曲や演奏データを使って練習する

本体に内蔵されているプリセット曲（デモ曲）や、自分で録音して保存した演奏データを再生して、練習などに活用することができます。

メモ

曲を連続して再生をすることもできます。曲の再生を停止させた状態で、[Select ／ Menu]つまみを回して「Play Mode」を選び、[Value ／ Exit Menu] つまみを回して、設定を「CHAIN」に変更してください。

設定値	説明
OFF	選択した曲のみ再生
CHAIN	選択しているメディアにあるすべての曲を連続して再生

再生する曲を選ぶ

1. USB メモリーに記録されている演奏データを再生するときは、USB メモリーを USB 端子に接続します。

2. 基本画面で［STOP］ピストンを押して、「Song Recorder」画面を表示させます。

3. ［Select ／ Menu］つまみを回して、「Source」を選びます。

4. ［Value ／ Exit Menu］つまみを回して、曲が記録されているメディアを選びます。

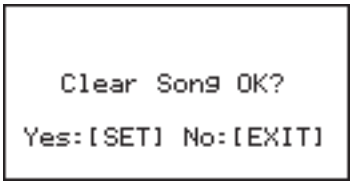
設定値	説明
USB	メモリーに保存されている演奏データを再生する
INTERNAL	本体メモリーに保存されている演奏データを再生する
PRESET	本体に内蔵されているプリセット曲（デモ曲）を再生する

5. ［Select ／ Menu］つまみを回して、「Song」の項目を選びます。

6. ［Value ／ Exit Menu］つまみを回して、再生する曲を選びます。

このような画面が表示されたときは

本体に保存されていない録音データがある場合、曲を選ぼうとすると以下のメッセージが表示されます。



- 演奏データを消してもよい場合は、［SET］ピストンを押します。
- 演奏データを消したくない場合は、[Value ／ Exit Menu] つまみを押します。『録音した演奏を保存する』(P.31) を参照して、演奏データを保存してください。

7. ［PLAY ／ PAUSE］ピストンを押して、曲を再生します。

- 弱起（1 拍目以外で始まる曲）の曲を再生すると、画面に「PU」と表示されます。
- 再生中に一時停止することができます。
  ［PLAY ／ PAUSE］ピストンを押します。再度、［PLAY ／ PAUSE］ピストンを押すと続きから再生されます。

8. 再生を止めるときは、［STOP］ピストンを押します。

あるディビジョンをミュートして再生する

曲の再生時に、各ディビジョンの演奏を、それぞれ独立してミュート（消音）することができます。

1. 基本画面で［STOP］ピストンを押して「Song Recorder」画面を表示させます。
2. 曲を選びます。
3. ［Select ／ Menu］つまみを回して、「Division Mute」の項目を選びます。
4. ［Select ／ Menu］つまみを押して、「Division Mute」画面を表示させます。
5. ［Select ／ Menu］つまみを回して、ミュート（消音）したいディビジョンを選びます。
6. ［Value ／ Exit Menu］つまみを回して、「PLAY」から「MUTE」に変更します。
7. ［PLAY ／ PAUSE］ピストンを押して、曲を再生します。

   録音された演奏に合わせて、ミュートされたディビジョンをご自分で演奏することができます。

※演奏データを選び直すと、すべてのディビジョンのミュートが解除されます。

あるディビジョンをガイド音色で再生する

1. 基本画面で［STOP］ピストンを押して、「Song Recorder」画面を表示させます。
2. 曲を選びます。
3. ［Select ／ Menu］つまみを回して、「Division Mute」の項目を選びます。
4. ［Select ／ Menu］つまみを押して、「Division Mute」画面を表示させます。
5. ［Select ／ Menu］つまみを回して、ガイド音色で再生したいディビジョンを選びます。
6. ［Value ／ Exit Menu］つまみを回して、「PLAY」から「GUIDE」に変更します。
7. ［Select ／ Menu］つまみを回して「Guide Volume」の項目を選びます。
8. ［Value ／ Exit Menu］つまみを回してガイド音色の音量を調節します。

設定値
1～10

9. ［Select ／ Menu］つまみを回して「Guide Tone」の項目を選びます。
10. ［Value ／ Exit Menu］つまみを回してガイド音色を選びます。

    ガイド音色は以下の 9 種類から選ぶことができます。

設定値	説明
F16、P16、R16、F8、P8、R8、F4、P4、R4	F：フルート P：プリンシパル R：リード 数字：フィート

11. ［PLAY ／ PAUSE］ピストンを押して再生します。

※演奏データを選び直すと、すべてのディビジョンが元の音色で鳴るようになります。

メモ

ガイド音色の種類と音量の設定は、本体の電源を切ると初期値に戻りますが、電源を切ったあとも設定を記憶させておくこともできます。
詳しくは『設定内容を記憶させる（カスタマイズ）』（P.22）をご覧ください。

演奏を録音する

演奏を録音する

1. 基本画面で［STOP］ピストンを押して、「Song Recorder」画面を表示させます。

メモ

［Select ／ Menu］つまみを押して、Quick Menu から「Song Recorder」画面を表示させることもできます。

2. ［REC］ピストンを押して録音待機状態にします。

［REC］ピストンが点灯し、［PLAY ／ PAUSE］ピストンが点滅します。

メモ

メトロノームの音を鳴らしながら録音することもできます。

3. 鍵盤を弾くと［PLAY ／ PAUSE］ピストンが点灯し、自動的に録音が始まります。

メモ

［PLAY ／ PAUSE］ピストンを押して、録音を始めることもできます。この場合、［PLAY ／ PAUSE］ピストンを押した 2 小節後から録音が始まります。メトロノームを使っているときは、2 小節のメトロノームが鳴ります。

4. 録音を止めるときは、［STOP］ピストンを押します。

［PLAY ／ PAUSE］ピストンが消灯します。

録音した演奏を再生する

1. ［STOP］ピストンを押して、演奏の先頭まで巻き戻します。

2. ［PLAY ／ PAUSE］ピストンを押すと、録音された演奏が再生されます。

メモ

［PLAY ／ PAUSE］ピストンを押して、再生中を一時停止することができます。再度、［PLAY ／ PAUSE］ピストンを押すと続きから再生されます。

3. 再生を止めるときは、［STOP］ピストンを押します。

録音した演奏を保存する

録音した演奏は、本体の電源を切ると消えてしまいます。録音した演奏を残しておきたいときは、USB メモリーや本体メモリーに保存してください。

1. USB メモリーへ保存するときは、USB メモリーを USB 端子に接続します。

2. 基本画面で［STOP］ピストンを押して、「Song Recorder」画面を表示させます。

3. ［Select ／ Menu］つまみを回して、「Save Song 」を選びます。

4. ［Select ／ Menu］つまみを押して、「Save Song 」画面を表示させます。

5. ［Select ／ Menu］つまみを回して「Save to」を選び、［Value ／ Exit Menu］つまみを回して保存先を選びます。

Save to（保存先）	説明
INTERNAL	演奏データを本体メモリーに保存します。
USB	演奏データを USB メモリーに保存します。USB メモリーを USB 端子に接続したときのみ選択できます。

6. ［Select ／ Menu］つまみを回して「Name」を選び、［Select ／ Menu］つまみを押して演奏データに名前を付けます。

名前を付ける方法は、『保存するデータに名前を付けるときは』（P.33）をご覧ください。

メモ

演奏データには、自動的に「New Song」という名前が付きます。

7. ［Select ／ Menu］つまみを回して「No.」を選び、［Value ／ Exit Menu］つまみを回して保存先の番号を選びます。

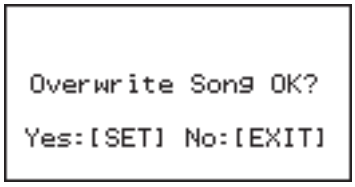
8. ［SET］ピストンを押すと保存されます。

保存が終わると、保存された演奏データ名が表示されます。

9. ［Value ／ Exit Menu］つまみを 2 回押して、基本画面に戻ります。

このような画面が表示されたときは

選んだ保存先の番号に、すでに演奏データが保存されているときは、以下のメッセージが表示されます。



- データを上書きして置き換えるときは［SET］ピストンを押します。すでにあるデータは消去され、録音した演奏データが保存されます。
- 保存先の演奏データを残しておきたいときは、［Value ／ Exit Menu］つまみを押します。
  保存が中止され、一つ前の画面に戻ります。別の保存先を選んでください。

保存されている演奏データを消す

メモ

プリセット曲を削除することはできません。

1. USB メモリーに保存されている演奏データを消すときは、USB メモリーを USB 端子に接続します。

2. 基本画面で［STOP］ピストンを押して「Song Recorder」画面を表示させます。

3. ［Select ／ Menu］つまみを回して「Delete Song」を選びます。

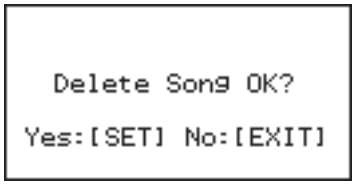
4. ［Select ／ Menu］つまみを押して「Delete Song」画面を表示させます。

5. ［Select ／ Menu］つまみを回して「Delete from」を選び、［Value ／ Exit Menu］つまみを回して削除するデータが記録されているメディアを選びます。

設定値	説明
INTERNAL	本体の演奏データを削除します。
USB	USB メモリーの演奏データを削除します。USB メモリーを USB 端子に接続したときのみ選択できます。

6. ［Select ／ Menu］つまみを回して「No.」を選び、［Value ／ Exit Menu］つまみを回して削除したい演奏データを選びます。

7. ［SET］ピストンを押すと確認画面が表示されます。



8. もう一度［SET］ピストンを押すと削除されます。

キャンセルする場合は、［Value ／ Exit Menu］つまみを押します。

ご注意！

削除が終わるまでは、決して USB メモリーを抜いたり、電源を切ったりしないでください。USB メモリーや、本体メモリーが破壊され、使用できなくなるおそれがあります。

9. ［Value ／ Exit Menu］つまみを 2 回押して、基本画面に戻ります。

演奏データをコピーする

メモ

- プリセット曲をコピーすることはできません。
- 演奏データは、本体には最大 99 曲、1 つの USB メモリーには最大 999 曲まで保存できます。

1. USB メモリーを USB 端子に接続します。

2. 基本画面で［STOP］ピストンを押して、「Song Recorder」画面を表示させます。

3. ［Select ／ Menu］つまみを回して、「Copy Song」を選びます。

4. ［Select ／ Menu］つまみを押して、「Copy Song」画面を表示させます。

5. ［Select ／ Menu］つまみを回して「Copy from」を選び、［Value ／ Exit Menu］つまみを回してコピーするデータが記録されているメディアを選びます。

設定値	説明
INTERNAL	本体メモリーに保存されている演奏データを、USB メモリーにコピーします。
USB	USB メモリーに保存されている演奏データを、本体メモリーにコピーします。

6. ［Select ／ Menu］つまみを回して「Name」の項目を選び、［Value ／ Exit Menu］つまみを回してコピーする演奏データを選びます。

メモ

「Name」の項目で「Copy All」を選ぶと、すべての演奏データをコピーすることができます。
「Copy All」を選んだとき、コピー先の番号にはすべてのデータがコピーできる番号を選んでください。たとえば、本体に保存されている 10 曲を USB メモリーにコピーする場合、コピー先の番号を No. 990 以下にします。

7. ［Select ／ Menu］つまみを右に回して「No.」の項目を選び、［Value ／ Exit Menu］つまみを回してコピー先の番号を選びます。

8. ［SET］ピストンを押すとコピーが始まります。

キャンセルする場合は、［Value ／ Exit Menu］つまみを押します。

ご注意！

コピー中は、絶対に USB メモリーを抜いたり、電源を切ったりしないでください。誤動作や、本体メモリー内、USB メモリー内のデータ破損の原因となります。

9. コピーが完了すると、コピー先の曲名が変わります。

10. ［Value ／ Exit Menu］つまみを 2 回押して、基本画面に戻ります。

保存するデータに名前を付けるときは

演奏データ、メモリー・バンク、ボイス・セットアップには、名前を付けて保存することができます。

1. 「Name」の項目で［Select ／ Menu］つまみを押します。

2. ［Select ／ Menu］つまみを回してカーソルを左右に移動し、［Value ／ Exit Menu］つまみを回してカーソルのある箇所の文字を変更します。

3. ［SET］ピストンを押して名前を決定します。

以下の文字を使用できます。

```
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f
g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! &
$ # @(空白) + - % = . ' ( ) [ ] < > ^ _ ` ¯
```

操作	説明
［M −］ピストン	文字を削除します。
［M +］ピストン	空白を挿入します。

ヒム・プレーヤー

Hymn（賛美歌）かPrelude（前奏曲）を選ぶ

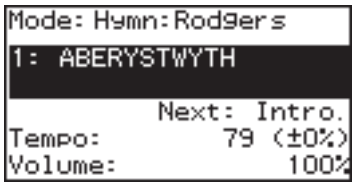
1. [HYMN PLAYER] ピストンを押します。
2. [Select ／ Menu] つまみを回して、Mode にカーソルを合わせます。
3. [Value ／ Exit Menu] つまみを回して、Hymn か Prelude を選びます。

メモ

ヒム・プレーヤーのモードでは、足鍵盤は演奏できません。オルガン･プレーヤーでない人が、ヒム･プレーヤー操作中に誤って足鍵盤を踏んでも、音が出ないようになっています。

Hymn number（賛美歌番号）を選ぶ

1. [HYMN PLAYER] ピストンを押します。
2. [Select ／ Menu] つまみを回して、Hymn number にカーソルを合わせます。



3. [Value ／ Exit Menu] つまみを回して、Hymn number を選びます。

[HYMN PLAYER] または [STOP] ピストンを押しながら、ジェネラル・メモリー・ピストンを使って番号を押して、選ぶこともできます。

賛美歌を再生する

1. [PLAY] ピストンを押します。

選んだ賛美歌のイントロが再生されます。

2. イントロが終わったときに [PLAY] ピストンを押すと、メイン節が始まります。メイン節が終わったときに、[PLAY] ピストンを押すと、繰り返しメイン節を再生することができます。

もし賛美歌のメイン節から再生したい場合は、[Select ／ Menu] つまみを回してカーソルを Next に合わせ、[Value ／ Exit Menu] つまみを回して Verse を選びます。

[PLAY] ピストンを押して、賛美歌のメイン節のみ再生します。

前奏曲を再生する

1. [HYMN PLAYER] ピストンを押します。
2. [Select ／ Menu] つまみを回して、Mode にカーソルを合わせます。
3. [Value ／ Exit Menu] つまみを回して、Prelude を選びます。
4. [PLAY] ピストンを押します。

前奏曲が自動連続再生されます。

メモ

[STOP] ピストンを押すと、[PLAY ／ PAUSE] ピストンが点滅して前奏曲の最後で自動的に停止します。前奏曲をすぐに止めるには、もう一度 [STOP] ピストンを押します。

Hymn book（賛美歌集）を換える

1. [HYMN PLAYER] ピストンを押します。
2. [Select ／ Menu] つまみを回して、Book にカーソルを合わせます。
3. [Value ／ Exit Menu] つまみを回して、Book を選びます。

この設定は、本体の電源を切ると初期値に戻りますが、電源を切ったあとも設定した内容を記憶させておくこともできます。詳しくは『設定内容を記憶させる（カスタマイズ）』(P.22)をご覧ください。

USB メモリーへの設定の保存と読み込み

USBメモリーの初期化

USB メモリーを本機で読み書きできるようにすることを、「初期化（フォーマット）」といいます。

初期化を行っていないと本機で使用することができません。

※初めて使用する USB メモリーは、本機で初期化してからお使いください。

※初期化すると、USB メモリーに保存されているすべてのデータは消えてしまいます。消去されたデータを元に戻すことはできませんので、初期化する前に内容の確認をしてください。

1. **USB メモリーを USB 端子に接続します。**
2. **基本画面で［Select ／ Menu］つまみを押します。**
3. **［Select ／ Menu］つまみを回して、「Save ／ Load (USB)」を選びます。**
4. **［Select ／ Menu］つまみを押して、「Save ／ Load (USB)」画面を表示させます。**
5. **［Select ／ Menu］つまみを回して、「Format USB Memory」を選びます。**
6. **［Select ／ Menu］つまみを押します。**

   確認画面が表示されます。

   初期化を中止するときは、［Value ／ Exit Menu］つまみを押します。
7. **［SET］ピストンを押してフォーマットを実行します。**

   ご注意！

   初期化中は、画面に「Executing」と表示されます。初期化中は、絶対に USB メモリーを抜いたり、電源を切ったりしないでください。
8. **［Value ／ Exit Menu］つまみを 2 回押して、基本画面に戻ります。**

USBメモリーに保存されているメモリー・バンクを削除する

1. **USB メモリーを USB 端子に接続します。**
2. **基本画面で［Select ／ Menu］つまみを押します。**
3. **［Select ／ Menu］つまみを回して、「Save ／ Load (USB)」を選びます。**
4. **［Select ／ Menu］つまみを押して「Save ／ Load (USB)」画面を表示させます。**
5. **［Select ／ Menu］つまみを回して、「Delete Memory Bank」を選びます。**
6. **［Select ／ Menu］つまみを押して、「Delete Memory Bank」画面を表示させます。**
7. **「Delete Bank」で、［Value ／ Exit Menu］つまみを回して削除する音色の設定（レジストレーション）を選びます。**
8. **［SET］ピストンを押します。**

   確認画面が表示されます。

   キャンセルする場合は、［Value ／ Exit Menu］つまみを押します。
9. **［SET］ピストンを押すと、メモリー・バンクが削除されます。**

   ご注意！

   削除が完了するまで、絶対に USB メモリーを抜いたり、電源を切ったりしないでください。

メモリー・バンクをコピーする

本体に記憶されているバンク、USB メモリーに保存されているメモリー・バンクの任意のバンクだけを本体の別のバンクとしてコピーすることができます。

また、本体に記憶されている任意のバンクのみを工場出荷時の状態に戻すことができます。

ここでは例として、USB メモリーに保存されているメモリー・バンクの任意のバンクだけを本体に読み込んでみましょう。

1. **念のため、本体メモリー・バンクを USB メモリーに保存しておきます。『USB メモリーに保存されているメモリー・バンクを使う』（P.26）をご覧ください。**
2. **USB メモリーを USB 端子に接続します。**
3. **基本画面で［Select ／ Menu］つまみを押します。**
4. **［Select ／ Menu］つまみを回して、「Save ／ Load (USB)」を選びます。**
5. **［Select ／ Menu］つまみを押して、「Save ／ Load (USB)」画面を表示させます。**
6. **［Select ／ Menu］つまみを回して、「Copy Memory Bank」を選びます。**
7. **［Select ／ Menu］つまみを押して、「Copy Memory Bank」画面を表示させます。**
8. **［Select ／ Menu］つまみを回して「Copy from」を選び、［Value ／ Exit Menu］つまみを回して「USB」を選びます。**

   目的に応じて、「Copy from」を選んでください。

設定値	説明
FACTORY	任意のバンクを工場出荷時の設定に戻します。
INTERNAL	本体に記憶されているバンクの設定を別のバンクにコピーします。
USB	メモリーに保存されているメモリー・バンクから、任意のバンクだけを本体に読み込みます。

9. **［Select ／ Menu］つまみを回して「Copy From Bank」を選び、［Value ／ Exit Menu］つまみを回してコピーするバンクを選びます。**
10. **［Select ／ Menu］つまみを回して「Copy to INT Bank」を選び、［Value ／ Exit Menu］つまみを回して書き込む本体内バンクを選びます。**
11. **［SET］ピストンを押します。**

    確認画面が表示されます。

    キャンセルする場合は、［Value ／ Exit Menu］つまみを押します。
12. **［SET］ピストンを押すと、指定したバンクがコピーされます。**

ボイス・セットアップの保存と読み込み

ボイス・セットアップとは、ストップの音量バランス、明るさ、調整パラメーターを含んだデータです。

※USB メモリーには最大 999 個のボイス・セットアップを保存することができます。

USB メモリーへ保存する

1. **USB メモリーを USB 端子に接続します。**
2. **基本画面で［Select ／ Menu］つまみを押します。**
3. **［Select ／ Menu］つまみを回して、「Save ／ Load (USB)」を選びます。**
4. **［Select ／ Menu］つまみを押して、「Save ／ Load (USB)」画面を表示させます。**
5. **［Select ／ Menu］つまみを回して、「Save Voice Setup」を選びます。**
6. **［Select ／ Menu］つまみを押して、「Save Voice Setup」画面を表示させます。**
7. **［Select ／ Menu］つまみを回して「Name」の項目を選び、［Select ／ Menu］つまみを押してボイス・セットアップに名前を付けます。**

   名前の付けかたは、『保存するデータに名前を付けるときは』(P.33) をご覧ください。
8. **［Select ／ Menu］つまみを回して「No.」の項目を選び、［Value ／ Exit Menu］つまみを回して保存先の番号を選びます。**

   上書きしたくない場合は、（Empty）を選んでください。

   キャンセルする場合は、［Value ／ Exit Menu］つまみを押します。
9. **［SET］ピストンを押します。**

   本体のボイス・セットアップが USB メモリーに保存されます。

ご注意！

ボイス・セットアップを USB メモリーに保存している間は、絶対に USB メモリーを抜いたり、電源を切ったりしないでください。誤動作の原因となります。

ボイス・セットアップを読み込む

1. **USB メモリーに記憶されているボイス・セットアップを読み込むときは、USB メモリーを USB 端子に接続します。**
2. **基本画面で［Select ／ Menu］つまみを押します。**
3. **［Select ／ Menu］つまみを回して、「Save ／ Load (USB)」を選びます。**
4. **［Select ／ Menu］つまみを押して、「Save ／ Load (USB)」画面を表示させます。**
5. **［Select ／ Menu］つまみを回して「Load Voice Setup」を選びます。**
6. **［Select ／ Menu］つまみを押して、「Load Voice Setup」画面を表示させます。**
7. **［Value ／ Exit Menu］つまみを回して、切り替えたいボイス・セットアップの名前を選びます。**
8. **［SET］ピストンを押します。**

   確認画面に切り替わります。

   キャンセルする場合は、［Value ／ Exit Menu］つまみを押します。
9. **［SET］ピストンを押します。**

   本体のボイス・セットアップが読み込んだボイス・セットアップに切り替わります。

※ボイス・セットアップは本体の電源を切ると初期状態に戻りますが、電源を切ったあとも、ここで読み込んだボイス・セットアップを記憶させておくこともできます。詳しくは『設定内容を記憶させる（カスタマイズ）』(P.22) をご覧ください。

ご注意！

ボイス・セットアップを読み込んでいる間は、絶対に電源を切らないでください。誤動作の原因となります。

ボイス・セットアップを削除する

1. **USB メモリーに記憶されているボイス・セットアップを削除するときは、USB メモリーを USB 端子に接続します。**
2. **基本画面で［Select ／ Menu］つまみを押します。**
3. **［Select ／ Menu］つまみを回して、「Save ／ Load (USB)」を選びます。**
4. **［Select ／ Menu］つまみを押して、「Save ／ Load (USB)」画面を表示させます。**
5. **［Select ／ Menu］つまみを回して、「Delete Voice Setup」を選びます。**
6. **［Select ／ Menu］つまみを押して、「Delete Voice Setup」画面を表示させます。**
7. **［Select ／ Menu］つまみを回して「No.」を選び、［Value ／ Exit Menu］つまみを回して削除するボイス・セットアップを選びます。**
8. **［SET］ピストンを押します。**

   確認画面が表示されます。

   キャンセルする場合は、［Value ／ Exit Menu］つまみを押します。
9. **［SET］ピストンを押すと、ボイス・セットアップが削除されます。**

ご注意！

削除が完了するまで、絶対に USB メモリーを抜いたり、電源を切ったりしないでください。

データのバックアップや初期化をする

製品出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）

本体の各種設定を、製品出荷時の設定に戻すことができます。この機能のことを「ファクトリー・リセット」といいます。

ご注意！

ファクトリー・リセットにより、録音された演奏データ、ジェネラル・メモリー・ピストン、ディビジョン・メモリー・ピストン、本体の設定は、すべて製品出荷時の設定に戻ります。あらかじめ USB メモリーにバックアップしておいてください。

• 『データをバックアップ／ロードする』（P.37）

1. **基本画面で［Select ／ Menu］つまみを押します。**
2. **［Select ／ Menu］つまみを回して、「Utility」を選びます。**
3. **［Select ／ Menu］つまみを押して、「Utility」画面を表示させます。**
4. **［Select ／ Menu］つまみを回して「Factory Reset」を選びます。**
5. **［Select ／ Menu］つまみを押します。**

   確認画面が表示されます。

   キャンセルする場合は、［Value ／ Exit Menu］つまみを押します。
6. **［SET］ピストンを押して、ファクトリー・リセットを実行します。**

ご注意！

ファクトリー・リセットの実行中は絶対に本体の電源を切らないでください。

7. **電源を入れ直してください。**

データをバックアップ／ロードする

データをバックアップ／ロードします。

1. **USB メモリーを USB 端子に接続します。**
2. **基本画面で［Select ／ Menu］つまみを押します。**
3. **［Select ／ Menu］つまみを回して、「Utility」を選びます。**
4. **［Select ／ Menu］つまみを押して、「Utility」画面を表示させます。**
5. **［Select ／ Menu］つまみを回して、「Backup ／ Restore」を選びます。**
6. **［Select ／ Menu］つまみを押して、「Backup ／ Restore」画面を表示させます。**
7. **［Select ／ Menu］つまみを回して「Direction」を選び、［Value ／ Exit Menu］つまみを回して、バックアップかロードを選びます。**

設定値	説明
BACK UP	データをバックアップします
RESTORE	データをロードします

8. **［SET］ピストンを押して、データのバックアップ／ロードを実行します。**

   キャンセルする場合は、［Value ／ Exit Menu］つまみを押します。
9. **データのロードを実行した後は、電源を入れ直してください。**

バージョンを表示する

ソフトウェアのバージョンを表示します。

1. **基本画面で［Select ／ Menu］つまみを押します。**
2. **［Select ／ Menu］つまみを回して、「Utility」を選びます。**
3. **［Select ／ Menu］つまみを押して、「Utility」画面を表示させます。**
4. **［Select ／ Menu］つまみを回して、「Version 」を選びます。**
5. **［Select ／ Menu］つまみを押して、「Version 」画面を表示させます。**

ショートカット一覧

ショートカットを使うと、目的の設定画面を直接表示させることができます。

表示する画面	ショートカット	
Demo 画面	［SET］ピストンを押しながら	［PLAY ／ PAUSE］ピストンを押す
Pitch ／ Tuning 画面		どれか鍵盤を押す
Expression Pedal 画面		エクスプレッション・ペダルを操作する
		キック・スイッチを操作する
設定内容を記憶する（カスタマイズ）		ジェネラル・キャンセル・ピストン［0］ピストンを押す
Audio 画面		［Master Volume］つまみを回す
Room Modeling 画面		［Reverb］つまみを回す
Console 画面		バス・カプラー［BASS］ピストンを押す
		メロディー・カプラー［MEL I］または［MEL III］ピストンを押す
Song Recorder 画面	［STOP］ピストンを押す	

Transpose を変更する	ショートカット	
基本画面から	［SET］ピストンを押しながら	［Value ／ Exit Menu］つまみを回す

ご注意！

ショートカット操作は、すべて基本画面で行ってください。

お問い合わせの窓口

● 製品に関するお問い合わせ先

ローランドお客様相談センター **050-3101-2555**

電話受付時間：　月曜日～土曜日　10:00～17:30（年末年始を除く）

※IP電話からおかけになって繋がらない場合には、お手数ですが、電話番号の前に“0000”（ゼロ4回）をつけてNTTの一般回線からおかけいただくか、携帯電話をご利用ください。

※上記窓口の名称、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

● 最新サポート情報

製品情報、イベント／キャンペーン情報、サポートに関する情報など

ローランド・ホームページ　**http://www.roland.co.jp/**

'07. 10. 01 現在（Roland）

RODGERS